

(社) 日本地すべり学会関東支部

2011 年 ニューズレター

1. (社) 日本地すべり学会関東支部 平成 22 年度現地検討会の開催について

平成 22 年度の現地検討会は、下記の 2 コースについて実施した。

(1) コース 1 : 群馬県内久保地すべり

日 時 : 平成 22 年 7 月 30 日 (金)

場 所 : 群馬県甘楽郡甘楽町内久保地すべり

参加人数 : 22 名

群馬県内久保地すべりは、平成 19 年 9 月に上陸した台風 9 号の豪雨により発生した長さ約 440m、幅約 130m の大規模な地すべりである。関東支部では、発生直後の平成 19 年と調査の進んだ平成 20 年にも現地検討会を開催している。災害発生直後から調査を経て施工段階まで視察することにより、本地すべりの素因・誘因、ブロック区分、更には合理的な調査、計測のあり方、対策工法の選定、施工までの流れを把握でき、各段階での課題等も議論することが可能となり有意義な検討会であった。また、初年度から群馬県環境森林部初め関係各位には大変お世話になった。ここに厚く御礼申し上げる。



写真 1-1 現地状況の説明



写真 1-2 集水井の設置状況



写真 1-3 杭工と集水井配置



写真 1-4 流路工を前に意見交換

(2) コース2：三宅島の火山災害とその対策

日 時：平成22年11月21日（日）～22日（月）

場 所：東京都三宅村、2000年噴火災害に対する防災施設（砂防・治山施設ほか）

参加人数：14名

2000年三宅島噴火に際しては、降雨時に火山灰等による泥流・土石流が頻発し、多くの対策工が実施された。ただし、未だに火山ガスの濃度は高く、森林も再生されていない地域も多く残る。また、火山ガスにより砂防構造物等の腐食も進行している地域もあり、維持管理上の課題がある。

今回の現地検討会は、噴火後約10年たった現地を視察し、火山防災における治山、砂防のあり方について、維持管理も含めて検討する良い機会と考え実施したものである。船中泊の日帰りという強行日程であったが、朝一番、東京都三宅支庁での概要説明を受け、七島展望台付近での荒廃状況と緑化施工の確認、新漣池、大路池の火口跡付近の植生状況、火山ガスの噴出に今も悩まされる金曾沢付近の砂防、治山施設の維持管理状況等、見どころ満載の視察であった。現在も続く火山ガスのため緑化が進まず、そのため現在も土砂流出が継続している中での対策工法の高い効果や維持管理について討議でき、有意義な現地検討会であった。

現地では落合支部長自ら緑化施工について解説を頂いた。また、現地状況や対策工の考え方についての詳しい説明と資料、さらには御案内まで東京都三宅支庁に尽力頂いた。ここに厚く御礼申し上げる。



写真 2-1 三宅島雄山を望む

噴火前は放牧地であったが、山頂付近はほとんど植生が失われ未だ回復していない。



写真 2-2 七島展望台から御蔵島を望む

樹木がなく展望は抜群だが、強風が吹き荒れる。



写真 2-3 火山灰起源の泥流堆積状況

砂防ダム上流域の広い範囲に堆積している。



写真 2-4 山頂から山麓部の状況

草本類がわずかに回復しているのみで、金曾沢上流域は樹木が立ち枯れ状態で残存する。



写真 2-5 溪流部の荒廃状況

近年でも金曾沢周辺では度々泥流が発生していることが伺える。



写真 2-6 ダブルウォールの砂防ダム

酸化、腐食が進行しており、腐食防止のためコンクリート打設中である。

2 . 平成 23 年度関東支部シンポジウムのお知らせ

本年度の関東支部総会シンポジウムは、「地形地質からみた大規模地すべり（広域的な分布と成因）」をテーマとし、開催する予定である。皆様、奮って御参加下さい。

■平成 23 年度（社）日本地すべり学会関東支部総会・シンポジウム

- (1) 開催日時：平成 23 年 6 月 17 日（金）14：00～17：00（総会終了後）
- (2) 場 所：東京大学武田先端知ホール（東京大学工学部）
東京都文京区弥生 2-11-16
東京地下鉄南北線「東大前」駅下車 徒歩 8 分
千代田線「根津」駅下車 徒歩 5 分
- (3) 会 費：支部会員・一般 2,000 円
学生 1,000 円（高校生以下無料）
- (4) 次 第：
 - ① 開会・支部長挨拶 14：00～14：10
 - ② 講演 14：10～14：50（40 分、質疑応答を含む）
「大規模地すべりー深層崩壊を視野に入れた地形・地質的成因の整理ー」
千葉大学名誉教授 古谷 尊彦
 - ③ 講演 14：50～15：30（40 分、質疑応答を含む）
「ネパールにおける地すべり分布図の作成と大規模地すべり」
山形大学地域教育文化学部 教授 八木 浩司
 - ④ 休憩 15：30～15：40
 - ⑤ 講演 15：40～16：20（40 分、質疑応答を含む）
「全国の地すべり地形マッピングから見た大規模地すべり」
独立行政法人 防災科学技術研究所 総括主任研究員 井口 隆
 - ⑥ 講演 16：20～16：45（25 分、質疑応答を含む）
震災報告会 「液状化被害」

関東学院大学工学部 教授 規矩 大義

- ⑦ 講演 16：45～17：00（15分、質疑応答を含む）
震災報告会 「東日本大震災に伴う斜面災害報告」
群馬大学大学院 教授 蔡 飛
- ⑧ 閉会 17：00 （その後、意見交換会を予定）

発行者：社団法人 日本地すべり学会関東支部（支部長：落合博貴）
305-8687 茨城県つくば市松の里1 独立行政法人森林総合研究所
Tel：029-829-8213 Fax：029-874-8507